

公文書館建設工事

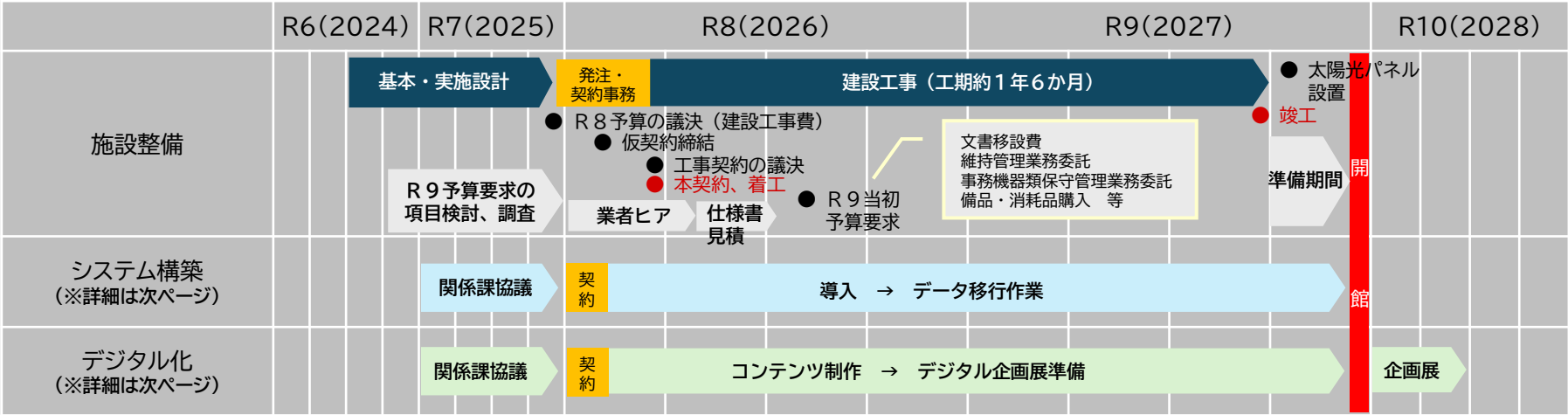
ア 工事費内訳

基本・実施設計 : 令和6～7年度に実施 → 本市公共建築部が工事費の見積額を算出。(総額約36.5億円)
建設工事 : 令和8～9年度(予定) → 建設、機械設備、電気設備の各工事に着手。令和9年12月竣工予定。

<各工事の主な内容>

建設工事	機械設備工事	電気設備工事
2,621,300千円(総額)	598,730千円(総額)	410,720千円(総額)
・地盤改良工事 ・建築一式工事 ・移動書架・受付カウンター等建具や家具の設置 ・屋外・館内サイン設置 ・外構工事、太陽光パネル設置のための架台など ※別途、設計意図伝達委託費 20,339千円 ※太陽光パネル本体は別事業 	・空調設備 ・給排水設備 ・屋内消火栓等の防災設備 等 上記にかかる配管・配線・設置など 	・照明及び受変電設備等の電気設備 ・非常用発電機設備 ・情報通信網設備 ・防犯・防災設備 等 上記にかかる配管・配線・設置など 

イ 整備スケジュール(予定)

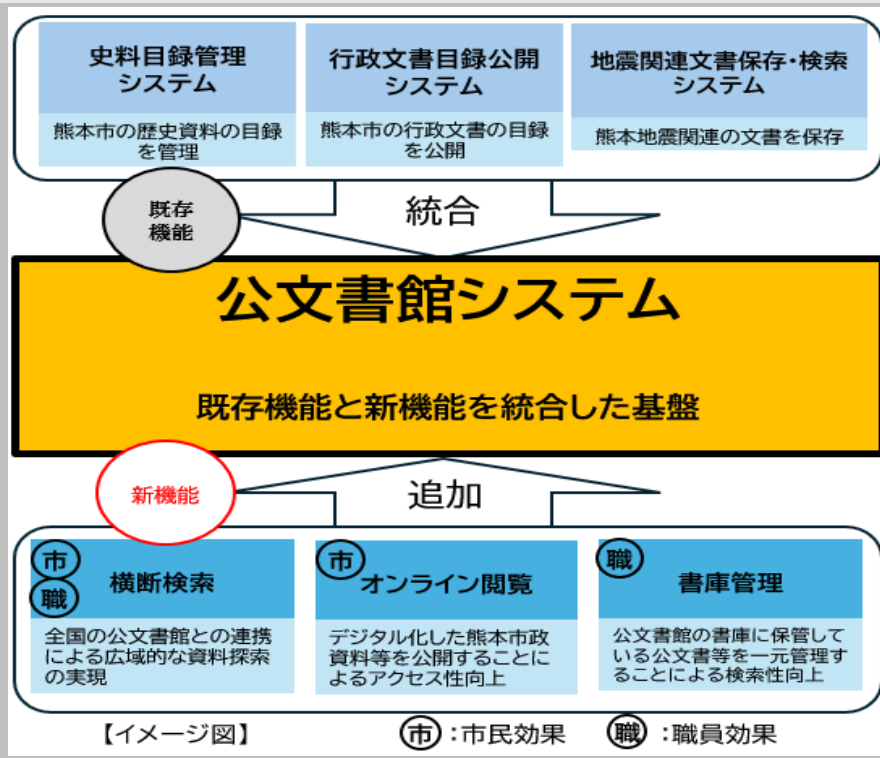


(1) (仮称)熊本市公文書館システム構築【20,000千円】

ア 導入の目的

公文書の移管・保存・公開等の業務プロセスを統合的に管理し、電子文書と紙文書を一体的に扱うための公文書館機能の基盤を整備する。資料閲覧環境の充実を図るため、3つの既存システム機能を統合し、目録情報や公文書等の画像データを一元的に管理・公開する

イ システムの機能と導入効果



(2) 公文書のデジタル化【100,000千円】

ア 対象資料の選定基準

- ・他機関には存在せず、希少性が高いもの
- ・デジタル化することで利用機会の拡大が見込まれ、社会的、学術的な需要が期待されるもの
- ・劣化が激しく、原資料保存・継承のために緊急を要するもの
- ・水害、地震に関するものなど、保存・活用の観点からデジタル化が必要と判断されるもの※平成28年熊本地震に関するものも今後実施予定

イ デジタル化対象(令和8年度(2026年度))

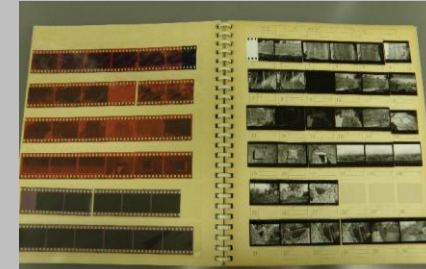
熊本市政資料

対象数: 400冊程度



写真フィルム

対象数: 16,000コマ程度



ウ デジタル化の方法

- ・専門業者においてスキャン又は撮影によりデジタル化。
- ・熊本市政資料は和綴じ資料であるため、結束を解き必要に応じて修復を行ったうえでデジタル化を実施。
- ・デジタル化したデータを新システムに新規登録して一元管理し、新システムの機能を拡充。
- ・デジタル化したデータは長期保存可能な形式で保管し、災害時における原資料の損失リスクを回避。

(3) 令和8年度(2026年度)スケジュール(予定)

凡例

システム構築に関すること
デジタル化に関すること

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約	構築						データ移行		最終確認	公開	アンケート
契約	デジタル化（第Ⅰ期）						データ 取込準備	データ 取込			
対象資料 整理						デジタル化（第Ⅱ期）					